コースコード：HP-H38DTS
税込価格：275,000円 (税抜価格：250,000円)
日数：2日間

ここに注目!!

データセンターの環境のサスティナビリティ(持続可能性)に関連する標準とガイドラインを提供します。新規または既存のデータセンターにおいて、より環境的に持続可能な設計と運用を実現する方法を習得します。
ベンダーに依存しない、世界で通用する認定研修と試験のセットです。
日本では、日本ヒューレット・パッカード合同会社でのみ受講および受験が可能です。
データセンター認定資格について、詳しくは以下をご覧ください。
データセンター認定資格 (HPE社資料)

【CDESS®資格とは】
CDESS®は全世界で有効な、データセンターの環境のサスティナビリティを実現する高度な専門知識を有することを証明する、ベンダーに依存しない世界資格です。
日本においては日本ヒューレット・パッカード合同会社の研修でのみ取得可能です。
有効期限は、3年です。期限切れの期日は認定証に記載されます。
なお、有効期間内にCDESS®再試験を受験して合格することで資格を更新できます。更新すると、有効期間は3年間延長されます。
以下の場合は、再度トレーニングを受講していただく必要があります。
・受講後1年以内に合格していない場合
・試験に3回連続で不合格になった場合

【認定証のPDF提供】
認定試験合格後に発行される認定証はPDFでのご提供となります。
認定証は試験機関のWebサイトよりダウンロードできます。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

・データセンターの可用性と管理性を維持しながら、効率と環境のサスティナビリティ(持続可能性)を実現および改善する責任を負っている方
・IT施設またはデータセンターの専門的な業務に携わる方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

データセンターまたは施設環境で1～2年以上の経験が必要です。
この研修に参加する前にCDCP®
の資格を取得しておくことを強く推奨します。CDCP®または同等の知識がなければ、CDESS®研修のメリットを十分に享受できない可能性があります。
※CDCP®は必須ではありません。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

・データセンターが環境に与える影響を理解する
・さまざまな環境/エネルギー管理基準について説明する
・気候変動に関する法的拘束力のある国際条約の目的と目標を理解する
・さまざまな持続可能なパフォーマンス指標を実装し、データセンター環境でそれらを使用する方法を理解する
・国際基準を使用してデータセンターの環境の持続可能性を管理する
・エネルギー使用量の測定、監視、および報告を設定する
・さまざまなデータセンター設計で電力効率指標を使用する
・電気インフラストラクチャと機械 (冷却)
インフラストラクチャにおけるエネルギーを節約するためのベストプラクティスを使用する
・ICT 機器とデータストレージのエネルギー節約のベストプラクティスを使用する
・水管理と廃棄物管理の重要性を理解する
・データセンターで持続可能なエネルギーを使用するさまざまな方法を理解する
・データセンターの持続可能性を高めるための実用的なヒントと革新的なアイデアを入手する

アウトライン

データセンターが環境に与える影響

2010年の予測

現在の状況

見通しとコミットメント

環境の持続可能性とは

持続可能性の重要性

上級管理職のコミットメント

環境持続可能性フレームワーク

サステナビリティ方針

パフォーマンスの基準と指標

情報ポリシー

透明度

意識

サービス課金モデル

環境管理

環境持続可能性フレームワーク (ISO 14001)

規格とガイドライン ISO 50001 / ISO 30134

測定とカテゴリ

ベースライン

傾向分析

報告

電力効率インジケーター

各種効率指標

電力使用効率(PUE)

PUE測定レベル

PUEに影響する要因

測定点と間隔

混合ソース環境でのPUE

混合用途の建物でのPUEの測定

PUEレポート

IT負荷を最適化した後のPUEの影響

電気エネルギーの節約(電気)

省エネの出発点を特定する

電力のサイジング

直流電源

発電機

UPSシステム

力率(PF)

照明の省エネ

電気エネルギーの節約(機械的)

冷却インフラの省エネ

温度と湿度の設定値

さまざまなエネルギー効率の高い冷却技術

気流のエネルギー節約

液体冷却

エネルギーの再利用

PUE、ERE/ERF、コントロールボリューム

電気エネルギーの節約(ICT)

調達

IT機器のエネルギー効率

ITEEsv、SMPE、SMPO

IT機器の活用

サーバーの仮想化

オープンコンピュートプロジェクト

電気エネルギーの節約(データストレージ)

データ管理

データストレージ管理

データストレージ機器の効率

水管理

水使用効率(WUE)

WUEの改善

発電所の水使用量

エネルギー水原単位係数(EWIF)

廃棄物管理

廃棄物管理方針

ライフサイクルアセスメント（ゆりかごからお墓まで）

廃棄物管理の3つのR

減らす

再利用

中古市場

リサイクル

持続可能なエネルギーの使用

持続可能なエネルギー源

電力購入契約

エネルギー属性証明書

再生可能エネルギー係数 (REF)

再生可能エネルギーの需給マッチング

持続可能なエネルギー貯蔵

炭素取引

自動化された環境管理システム

AIと機械学習の活用

負荷の移行

データセンターインフラストラクチャ管理(DCIM)ソリューション

※トレーニング内容は、予告なく変更されることがございます。